

浜田市議会議長 笹田 卓 様

議員名 西 田 清 久

調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間

令和6年1月22日(月)～23日(火)

2. 視察内容

- ①「三桜酒造跡地」における、酒蔵のリノベーションの方策、利活用の可能性について(兵庫県淡路市)
- ②出生率2.95の奇跡の町における「子育て支援策」について(岡山県奈義町)

3. 視 察 先

- ①関西ハウス工業株式会社
 - ・①-1 事務所
 - ・①-2 家屋リノベーション現地「古淡」「松陰」
 - ・①-3 酒蔵リノベーション現地「本田酒店」
- ②兵庫県勝田郡奈義町役場

4. 調査経費 26,121 円

(経費内訳) 浜田市→兵庫県淡路市→岡山市泊→岡山県奈義町→浜田市

宿泊代	7,800 円
レンタカー代	8,525 円
有料道路代	3,838 円
ガソリン代	2,208 円
駐車場代	250 円
行政視察料(奈義町)	3,500 円

5. 調査研究活動の概要

別紙のとおり



〔調査研究活動の概要〕

【酒蔵の利活用について「酒蔵リノベーション」】

■視察項目

○ 空き家等廃屋を資源ととらえ、リノベーションすることで、賃貸物件や、観光資源として、再生をしている。その考え方について学ぶ。

〈関西ハウス工業の概要〉

- ・ 会社名 関西ハウス工業株式会社
- ・ 創業 昭和 27 年 5 月
- ・ 法人設立 昭和 37 年 4 月
- ・ 資本金 20,500,000 円
- ・ 事業所 兵庫県淡路島市生穂 1803 番地の 2
- ・ 事業内容
 - 民間企業の施設(事務所・店舗・工場など)設計施工
 - 民泊施設等のリノベーション
 - 各種建築物のメンテナンス
 - 個人住宅の(新築・リフォーム)設計施工
 - 宅地建物取引業(自社賃貸物件の管理運営)

1. 事務所での説明

●説明者

総務部 部長 奥村祐馬 様

建築部 部長 川西悦司 様

明石営業所 所長 建築部 部長 北邨亮介 様

●視察者

- ・ 浜田市における「酒蔵」の現状について説明→更地での買取。
- ・ 浜田市においては、「酒蔵」の良さがわかってもらえない。
- ・ 壊すことは簡単であるが、元に戻すことはできない。

●事業所

- ・ 本田酒店は築 100 年以上であったが、梁などは活かし、基礎に改修を施した。
- ・ 「三桜」の写真を見るに、全然きれいな建物である。
- ・ この写真の「三桜」を壊すのはもったいない。
- ・ 昨今の SDGs からも酒蔵のリノベーションは考えられている。
- ・ また、流行りのカフェにもなりうる。
- ・ 淡路市では、阪神淡路大震災の被災で酒蔵のような建物が少ないからこそ残す動きがある。



2. 古民家リノベーションの紹介「古淡」「松陰」

関西ハウス工業株式会社の空き家のリノベーション技術の紹介として、次の2事例を示され、視察しました。

「古淡」※1日1組限定の貸切宿



「松陰」※総合ワーケーション 研修道場



3. 酒蔵リノベーションの紹介「本田酒店」

[工事の概要]

- ・歴史ある酒蔵の全面リノベーションの依頼があった。
- ・近年では、ほとんど使用されることが少なくなっている空間を復活させたいという施主様の要望に応えた。
- ・1階には、キッチンやリビング(和室)等の居住空間を新たに設けた。
- ・2階は、長年使われた酒造りの道具や、写真、資料などを飾るギャラリースペースとした。
- ・築年数 約100年
- ・規模 2階建て
- ・延床面積 295.00㎡

本田酒店様〔古民家再生〕

リフォーム前 (BEFORE)



リフォーム後 (AFTER)



【子育て支援策について「出生率 2.95 の奇跡の町」】

今回の視察は、当方を含め 5 市町による合同の視察となりました。なお、その内 1 団体は、オンラインであり、現地では 37 名でした。

説明者:情報企画課 副参事 小坂昌平 様

■調査項目

- ・奈義町役場 職員 83 人
- ・合計特殊出生率 2.95% 令和元年度
- ・少子化対策～町全体での子育て

1. 奈義町について

- ・昭和 30 年 2 月 3 村合併により「奈義町」が誕生
- ・平成 14 年 12 月 合併の意思を問う住民投票を行い「単独町制」を決定
- ・面積 69.52k m²
- ・人口 5,751 人(2023. 3. 1 現在) ※2022. 4. 1 時点 5,725 人
- ・世帯 2,533 世帯(2023. 3. 1 現在)
- ・特色 自衛隊
 - ・日本原駐屯地
 - ・日本原演習場 14,66 k m²
(奈義町分 11.94 k m²)=行政区の約 2 割
- ・子育て関連施設
保育園 1 園・幼稚園 2 園 → 令和 6 年春 こども園 開園(予定)
小学校 1 校
中学校 1 校 → 令和 6 年春 建て替え完了(予定)
子育て支援施設 → 令和 2 年度 全面リノベーション
(チャイルドホーム)
令和 5 年 9 月～ 奈義保育園でおむつのサブスクを導入

2. 少子化対策の意義

- ・問題と課題
少子化対策は、子育て世代だけの問題ではない。
だからこそ、課題を住民と一緒に考える
「少子化対策は最大の高齢者福祉」
- ・平成 24 年 4 月 1 日 子育て応援宣言
- ・令和 5 年 6 月 13 日 こどもまんなか応援サポーター宣言
- ・有効な少子化対策は何か
子どもは 2 人以上欲しいけど
 - ・子育てや教育にお金がかかりすぎる。
→妊娠・出産、子育てまで切れ目のない経済的支援
 - ・高年齢で産むのが嫌
 - ・育児の心理的、肉体的に負担に耐えられない

- 出産、子育て等に係るメンタル的支援
子育てにやさしい地域づくり、機運醸成
- ・奈義町は子育てしやすい環境？
→奈義町が抱える地域課題の解決(住む、働く)

3. 奈義町の子育て支援施策

① 経済的支援の主な例

- 在宅育児をする保護者に毎月 15,000 円の支援金
- 高校生への就学支援として年額 240,000 円の支援金
- 大学生に町独自の奨学育英金、卒業後に町への定住で全額返済免除
- ・町の一般会計予算規模 約 45 億円のうち子育て支援単独事業約 2 億円(一般会計に占める割合 4~5%)

② メンタル的支援・機運醸成～産前産後ケア

- ・保健師による母子手帳交付時の面談
- ・きずなメールによる情報発信
- ・保健師による新生児全戸訪問
- ・母乳相談
- ・産後ヘルパー
- ・産前産後アプローチの更なる推進
今後実施予定事業
→心理士による産前産後のカウンセリングの導入
父親の子育て力アップ事業
子育て適応包括支援尺度(CPRA)を活用した個別支援
- ・なぎチャイルドホーム
→常駐する「子育てアドバイザー」
町民同士で支えあう子育てサポート制度
町民ボランティア 1時間 300円
- ・奈義町子育て応援宣言を公表(H24.4.1)

③ 地域課題の解決

- ・しごとコンビニ事業
→空いた時間にちょっとだけ働きたい×繁忙期にちょっとだけ手伝ってほしい
事業主体 一般社団法人しごとえん
- ・奈義しごとえん
- ・子どもの見守り「こもりん」
→大人が交代制で子どもを見守れる仕組み
- ・企業誘致 全 16 社立地 約 800 名が就労
- ・賃貸住宅の整備
→満室
賃貸住宅不足を解消するため、町で「民間賃貸住宅の建設」を助成
→賃貸若者向け住宅の建設(オール電化や浴室乾燥など子育て層の声に対応した賃貸住宅)

・分譲地整備

→分譲率 100%

→不足の対応

民間分譲地整備補助

エリア整備に向け PPP/PFI に着手

④ (番外)ナギフトカード

・機能 ナギフトポイント、ナギフト支援券、ナギフトマネー
給付金

・スマホ連携

・ICチップ入り 電子カード(全町民所持)

4. 高い合計特殊出生率の鍵は

「安心感」

- ・住むところがあって安心
- ・働くことができ安心
- ・子育ての負担が軽くなって安心
- ・子育ての悩みや喜びが共有できて安心
- ・町のみんなが子育てを応援してくれて安心

「特殊出生率」

・出生人数の維持

平成 14 年 54 人 1.83

平成 30 年 54 人 2.40

分母が違う。分母が減少。

町速報値 令和 2 年 2.25 令和 3 年 2.68



視察の様子



浜田市他 3 団体が合同視察



庁舎前に於いて

(所感)

① 「三桜酒造跡地」における、酒蔵のリノベーションの方策、利活用の可能性について（兵庫県淡路市）

- ・ 造り酒屋の酒蔵というものが 100 年以上地域の文化と経済の発展を支えてきた。その魅力は永年かけて培われた目に見えないものであり、酒蔵に入っ
てこそ五感で感じる新鮮なものである。酒蔵の価値はお金で造れるものでは
ないと感じた。
- ・ 酒蔵リノベーションを決断された本田酒店の奥様は、”先祖代々受け継が
れてきた造り酒屋の想いを消してしまうことが忍びない”という思いを言わ
れ、非常に共感した。
- ・ リノベーションを決断された施主の想いと施工を手掛けた「関西ハウス工
業」の技がマッチし老朽化した酒蔵が生き返った。どんなに古くてもリノ
ベーションは可能と言われ、三桜酒造の外観写真をお見せすると”これだ
け奥行きもあり立派な酒蔵をなぜ壊すのか信じられない。是非保存活用を
検討してください。淡路から応援しています”とエールを送られ感激した。
- ・ 酒蔵の中のイベントとしてコーラスや楽器演奏を行うと演奏者の方々が口
をそろえて云われるのが、音の響きがすごく良いそうで、納得がいった。

(所感)

② 出生率 2.95 の奇跡の町における「子育て支援策」について（岡山県奈義町）

- ・ 奈義町の子育て世帯は、半数以上がこども 3 人以上の多子世帯であると
ともに合計特殊出生率「2.95」という中身について研修した。
- ・ 奈義町の特長として人口 6000 人弱でその 8 割が中心部から半径 2 km に定
住しているコンパクトシティであり、自衛隊の日本原駐屯地とその演習場
があることもまちづくりに影響を与えている。
合計特殊出生率については、自衛隊員の配置状況により乱高下しており特
に女性の数の分母が下がると出生率は上がるということである。
- ・ 平成 24 年に「奈義町子育て応援宣言」を発表し、町民へ行政が安心感と
心強さを与え、町民の意識啓発に寄与した。
- ・ IC チップ入り電子カード「多世代共生型ナギフトカード」やしごとコンビ
ニ事業子どもの見守り「こもりん」、保育園でおむつのサブスク導入など
参考事例が多かった。
- ・ 子育て支援施策における経済的支援は、自治体間で競い合うように取組が
進んでおり、他の自治体の取組は参考程度で浜田のオリジナリティーを発
揮することが重要と思った。